

社会科（地理的分野）学習指導案

指導者 内 宮 康 貴

1 日 時 平成27年7月3日（金）1校時

2 学 級 上田中学校1年2組 男子18名 女子15名 合計33名 南校舎2階1年2組教室

3 主 題 第1編 世界のすがた 第2章 世界各地の人々の生活と環境
5 常夏の島でくらす人々（東京書籍）

4 主題について

本単元は、中学校学習指導要領地理的分野、内容（1）世界の様々な地域の「世界各地の人々の生活と環境」にあたり、「世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件と関連付けて考察させ、世界の人々の生活や環境の多様性を理解させる。」ことをねらいとしている。単元構成は寒帯から熱帯まで気候帯に則って学習を進め、さらに高地や低地、宗教とのかかわりにもふれる。世界各地の人々の生活は極めて多様なものであり、各事例を取り上げる際は自然的条件のみに着目せず、自然と社会的条件とを絡めて考察させる必要がある。そのうち本時では、常夏の島でくらす人々を題材とし、フィジーを取り上げる。フィジーは熱帯独特の衣食住がみられる地域であり、近年、外国人観光客の流入が盛んである。オーストラリアやニュージーランドなど近隣諸国はもとより、アジア諸国からの観光客も急増している。その背景には、フィジー政府の観光セールスの強化などがあるが、核となるのは、他の地域には見られない熱帯特有の自然や文化が観光資源になっている点である。フィジーの観光開発はそれまでサトウキビ中心であった産業構造に大きな変化をもたらし、第三次産業も経済の主軸となり、生活の近代化を進める要因となった。一方で、さんごしょうやマングローブの減少といった環境問題もみられ、観光業の発展が自然環境に影響をもたらす事象も見られる。フィジーを題材に熱帯地域のくらしをとらえる際、豊かな自然と観光業など社会的条件を結びつけて考察させたい。

生徒は、地理的分野の学習に対する興味や関心が高い。特に、地球儀や世界地図を用いて、大まかな世界の地域構成は認識できている。また、世界各地の人々が、各地域でどんな生活をしているのか、関連語句の大まかなマッピングができる。しかし、世界各地の生活のイメージで、自然と文化を結び付けてとらえるには至っておらず、複数資料の読み取りから考察する力も初歩的な段階だ。複数資料から読み取ったことを組み合わせ、論理的に思考、判断、表現する力を身に付けさせることが現在の課題である。

そこで本単元では、雨温図などの自然的条件にかかわる資料と衣食住にかかわる資料を組み合わせ読み取らせることから、世界各地の人々の生活が自然や社会的条件と深く結びついていることに気付かせ、考察を論理的に表現させたい。また、伝統的な衣食住をとらえることを基に、現在の生活と比較し、人々の生活が可変的であることに気付かせたい。これらをふまえ、第3章世界の諸地域における、各州の地域的特色をとらえる学習活動に対する興味、関心も高めたい。

5 指導と評価の計画（別紙）

6 本時の達成目標

社会的な事象への 関心・意欲・態度	
社会的な思考・判断・表現	フィジーの人々の生活が変化した背景について、経済発展や熱帯の特色を生かした観光開発などを根拠にして説明している。 〈生徒の記述例〉 ・豊かな自然を求めてフィジーを訪れる観光客の増加と島の観光開発に伴ってフィジーが経済発展をとげたから。
資料活用の技能	
社会的な事象についての知識・理解	

7 本時の指導構想

(1) 本時のねらい

本時は、評価規準の「社会的な思考・判断・表現」の「フィジーの人々の生活が変化した背景について、経済発展や熱帯の特色を生かした観光開発などを根拠にして説明している。」を主にねらったものである。

(2) 「論理の意識化を図る学習活動」にかかわって

【考えがいのある課題設定】

学習課題を「フィジーの人々の生活が変化したのは、なぜだろう？」と設定する（5. スライドから現代化しているフィジーの現状を知り、本時の学習課題を把握する。）。

課題解決の基になるのは「フィジーの気候は熱帯であること」「フィジーは熱帯の特徴的な食生活や住居がみられること」「フィジーには青い海やサンゴ礁、マングローブなど豊かな自然環境があること」「フィジーの生活様式が近代化していたり、マングローブが伐採されていたりすること」である。これについては本時の導入で確認する（3. 雨温図を読み取り、どのような気候であるか考察する。 4. 資料から、フィジーの伝統的な食生活と住居の特色を読み取る。 5. スライドから現代化しているフィジーの現状を知り、本時の学習課題を把握する。）。

【「論理の思考型」を用いた言語活動】

特に、演繹的思考を用いて考えさせたい。

雨温図、フィジーの生活の様子を示す資料、観光客数や観光収入の変化がわかる資料を個人で読み取らせる。さらにグループでのかかわり合いを通して、フィジーの経済発展や熱帯の特色を生かした観光開発に関わる資料など複数の資料を結びつけ、学習課題に対して演繹的に説明させる（9. 学習課題を振り返り、本時のまとめをする。）。

【かかわり合い】

本時では、2度のかかわり合いを設定する。

1度目は、学習課題に対する予想をした後の全体交流である（6. 学習課題に対する予想をたてて、その予想を全体で共有する。）。これは、別の視点からの予想もふまえて学習課題の解決を見通すことをねらいとする。

2度目は、その後の全体交流である（8. グループでかかわり合い、読み取った内容を交流する。）。これは、グループ交流のなかで改めて、熱帯の特殊性について多くの視点から整理して、次の学習活動にあたる、個人で学習をまとめる際に必要なレディネスを整えることをねらいとする。

【自己評価活動】

自己評価活動を行う（10. 自己評価をする。）。

学習前のマッピングで表現した熱帯の生活に対するイメージから、学習活動を通して、認識が深まったことをメタ認知させたい。また、他の熱帯地域の生活に対する興味や、開発に伴う自然環境への影響といった私たちの生活とのつながりについても記述できることを望む。

8 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価の視点・方法	教材等
導入 20分	1. 単元を貫くテーマを確認した上で、マッピングの内容を全体で共有する。 2. フィジーの位置を地図帳で確認し、国のあらましについてもまとめる。 3. 雨温図を読み取り、どのような気候であるか考察する。 4. 資料から、フィジーの伝統的な食生活と住居の特色を読み取る。 5. スライドから現代化しているフィジーの現状を知り、本時の学習課題を把握する。	1. 常夏の島にくらす人々について、学習前のイメージを積極的に表出させる。 2. さくいんの活用など、工夫して位置を確認させる。 3. フィジーの気候は熱帯に属していることを教える。 4. 雨温図と結びつけながら住居の特徴や、農作物に着目させる。		学習シート 模造紙 スライド 地図帳 スライド 学習シート 教科書 資料集 スライド
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> フィジーの人々の生活が変化したのは、なぜだろう？ </div>				
展開 25分	6. 学習課題に対する予想をたて、その予想を全体で共有する。 【自己決定①】 【演繹的思考】 【かかわり合い①】 7. 外国人旅行者数や観光収入の変化が記載されている資料を基に、生活が変化した理由を探る。 8. グループでかかわり合い、読み取った内容を交流する。 【かかわり合い②】 9. 学習課題を振り返り、本時のまとめをする。 【自己決定②】 【演繹的思考】	6. 予想の内容が、既習事項か資料をもとに記述されたものか確認する。 ・国が発展したから ・観光客が増えたから 7. 外国人旅行者の増加にともなって観光収入が増加し、経済が発展していること、自然やリゾート目的で熱帯を訪れる割合が高いことを読み取っているか確認する。 8. 他の人が違う視点から記述していた内容は、別の色のペンで記入させる。 9. 学習活動3～8を整理し、複数資料を関連付けてまとめさせる。	9. 【思考・判断・表現】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> フィジーの人々の生活が変化した背景について、経済発展や熱帯の特色を生かした観光開発などを根拠にして説明している。 </div> 〈学習シートの記述〉 A: 人々の生活が可変的であることを、社会的条件の変化や伝統的な生活様式とも結び付けながら説明している。 C: 外国人旅行者の増加と観光収入の増加を資料からとらえさせる。	学習シート 学習シート
終末 5分	10. 自己評価をする。	10. 今日の授業で学んだことや考えたことを自己評価として文章にまとめさせ、数人に発表させる。		学習シート
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 90%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・熱帯の気候と、人々の生活が深く結びついていることが、分かった。 ・時代や経済が変化することで生活や文化も大きく変わることが、分かった。 ・国の発展に伴う自然環境への影響を学んだので、これからの熱帯の自然はどうなっていくのか気になった。 </div>				

1 年 社会		題材名 第1編 世界のさまざまな地域 第2章 世界各地の人々の生活と環境		総時間 10時間扱い
学習指導要領の指導事項			単元の目標	
(1) 世界の様々な地域 イ 世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件と関連付けて考察させ、世界の人々の生活や環境の多様性を理解させる。			世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件と関連付けて考察させ、世界の人々の生活や環境の多様性を理解することができる。	
社会的事象への関心・意欲・態度		社会的な思考・判断・表現		資料活用の技能
自然及び社会的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変容を基に、世界各地の人々の生活と環境の多様性に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。		世界各地の人々の生活と環境の多様性を、自然的条件や社会的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変容を基に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		社会的事象についての知識・理解
世界各地の人々の生活と環境の多様性に関する様々な資料を収集し、収集した資料から、世界各地の人々の生活と環境について有用な情報を適切に選択している。		世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然的条件や社会的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変容を理解し、その知識を身に付けている。		
時	主な学習活動	おおむね満足 (B)	十分満足 (A)	評価事例
1	○雪と氷の中でくらす人々 伝統的な生活が現在どのように変容しているのかを、イヌイットの生活から考察する。	思 イヌイットの生活の過去と現在の生活を比較し、その変容がどのような条件によるのかを考察し、発表している。	イヌイットの現在の生活は、自分たちの生活とあまり変わらないことにもふれている。	5 フィジーの人々の生活の特色を学習する場面 (思 学習シート) フィジーに外国人旅行者が集まる背景について、住居や食文化、自然環境など熱帯の特殊性を根拠にして説明しているかどうかを評価対象とする。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> ■おおむね満足 (B) ・ロボ料理やココヤシ、バナナのような食生活や、暑さをしのぐ工夫がみられる住居など、熱帯の気候に合わせた生活がみられ、青い海やサンゴ礁といった美しい自然環境もあるから。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> ■十分満足 (A) ・ロボ料理やココヤシ、バナナなど高温多湿の環境に合わせた食生活や、風通しや日差しの強さに対する工夫がみられる住居など、温帯にはみられない熱帯特有の生活がみられ、青い海やサンゴ礁といった美しい自然環境もあるから。 </div> </div> フィジーに外国人旅行者が集まる背景について、住居や食文化、自然環境など熱帯の特殊性を根拠にして説明している。 フィジーに外国人旅行者が集まる背景について、住居や食文化、自然環境など熱帯の特殊性を、他の気候帯のくらしとの比較や、雨温図と生活様式を結び付けながら、説明している。 【C：指導の手立て】 資料から考察し、説明することが難しい生徒に対しては、フィジーには青い海やサンゴ礁があることを教え、熱帯の特色をとらえさせる。
2	○寒暖の差が激しい土地にくらす人々 自然的条件に適応した暮らしとはどのような生活なのか、資料からとらえる。	技 写真や雨温図などから、日本の自然環境との違いを読み取って記述している。	衣食住の特色を様々な角度から記述し、日本とは異なる自然的条件と生活の工夫を結び付けて記述している。	
3	○温暖な土地にくらす人々 温帯のおよその特色をとらえ、気候が生活に与える影響をまとめる。	知 温帯に見られる気温や降水量の特色をまとめている。	雨温図や分布図を見て、温帯の特色を読み取ることもできる。	
4	○乾燥した土地にくらす人々 乾燥帯に位置する地域の人々の生活が変化していくことを、資料から読み取る。	思 乾燥帯でくらす人々の生活の特色を資料から考察し、説明している。	乾燥帯でくらす人々の衣食住の特色や文化が生み出された背景を、自然的条件や社会的条件から考察し、説明している。	
5	○常夏の島でくらす人々 フィジーに外国人旅行者が集まる背景について、住居や食文化、自然環境など熱帯の特殊性を根拠にして説明する。	思 フィジーに外国人旅行者が集まる背景について、住居や食文化、自然環境など熱帯の特殊性を根拠にして説明している。	フィジーに外国人旅行者が集まる背景について、住居や食文化、自然環境など熱帯の特殊性を、他の気候との比較や、雨温図と結び付けながら、説明している。	
6	○山にくらす人々 高山気候に位置する地域の資料から、衣食住の特色や生活の工夫を読み取る。	技 高山気候でくらす人々の生活の特色を資料から読み取って記述している。	衣食住の特色を様々な角度から記述し、自然的条件と生活の工夫を結び付けて記述している。	
7	○低い土地にくらす人々 自然的条件や社会的条件の異なる社会での暮らしに関心を持ち、追究する。	思 低地でくらす人々の生活の特色を資料から考察し、説明している。	低地でくらす人々の生活の工夫や衣食住の特色などを、自然的条件や社会的条件から考察し、説明している。	
8	○人々の生活に根ざす宗教 仏教、キリスト教、イスラム教の特色と生活とのかかわりをとらえる。	知 仏教、キリスト教、イスラム教の主な分布をとらえ、衣食住との関連をとらえている。	歴史学習と関連付けて主な特色をとらえている。宗教と生活が関連していることを多面的に説明できる。	
9	○伝統的な生活とその変化 世界各地の伝統的な衣食住の特色とその変化を、分布図を活用してまとめる。	知 世界各地の気候と住居の素材、主食と農作物とのかかわりをとらえている。	気候や生活様式に合わせて、様々な衣食住の文化がみられることを多面的にとらえ説明できる。	
10	○世界の気候区分 各気候帯のおよその特色を、世界の気候区をもとにまとめる。	技 各気候帯のおよその特色を分布図にあてはめて、整理し、まとめている。	用意された資料のほかに、自分でも各気候帯の特色にかかわる資料を調べ、分布図を作成している。	